

令和 8 年度（対象：令和 7 年度）

日吉津村地方創生総合戦略

評価検証報告書

(案)

< 内 容 >

1. 総合戦略の評価について
2. 総合戦略の進捗状況の概要について
 - 人口の状況
 - 基本目標と重要業績評価指標（KPI）の状況
 - ・基本目標 1
住んでみたい、住み続けたいむらづくり
 - ・基本目標 2
結婚・出産・子育てしやすいむらづくり
 - ・基本目標 3
働き続けられるむらづくり
 - ・基本目標 4
魅力あふれるむらづくり
3. 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）事業効果検証報告書について

日吉津村
日吉津村総務課
(令和 8 年 8 月報告)

1. 総合戦略の評価について

(1) 評価検証の目的

日吉津村地方創生総合戦略は PDCA サイクルを活用しながら着実に推進することとしており、進捗について毎年度評価を実施し、今後の施策や事業の改善に活用します。

令和8年6月に第7次日吉津村総合計画後期計画と第3期日吉津村地方創生総合戦略を一体化し策定したことにより、「みんなで創るひえづ未来本部会議（旧：日吉津村地方創生総合戦略推進本部）」での内部検証、住民委員・外部有識者で構成する「みんなで創るひえづ未来会議（旧：日吉津村地方創生推進会議）」での外部検証を行い客観的に基本目標及び重要業績評価指標（KPI）の進捗状況を把握し、評価結果は議会に報告するとともに村民に公表します。

《国の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」より抜粋》

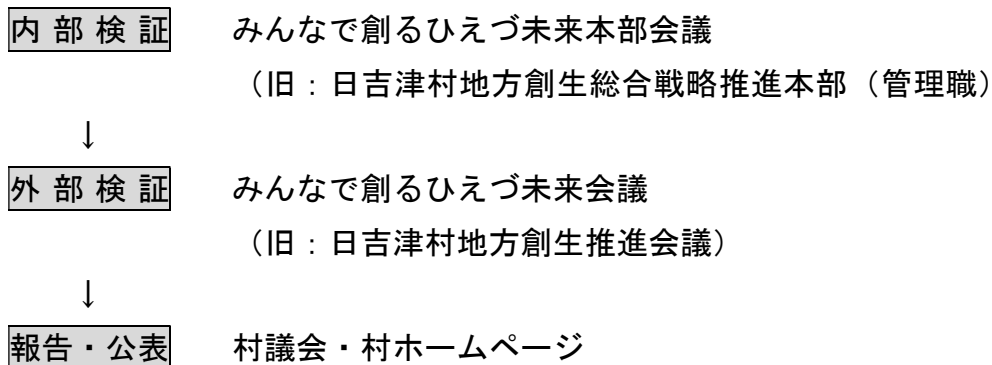
附論 第1章 まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則

5. 結果重視

施策の結果を重視するため、明確なPDCAメカニズムの下に、客観的データに基づく現状分析や将来予測等により短期・中期の具体的な数値目標を設定した上で施策に取り組む。

その後、政策効果を客観的な指標により検証し、必要な改善を行う。

<参考：検証の流れ>



(2) 評価検証の具体的な方法

総合戦略の評価検証は、「基本目標の評価」及び「施策の評価」で構成します。

なお、検証にあたっては、4つの基本目標毎に設定した「数値目標（KGI）」、及び13の施策毎に設定した「重要業績成果指標（KPI）」の達成度を確認するとともに、それらの達成状況等に重点を置いて評価します。

■KGI（Key Goal Indicator）：戦略を達成するうえでゴールとなる目標を定量的に示した指標

■KPI（Key Performance Indicator）：KGIに到達するまでのプロセスを定量的に評価するための指標

2. 総合戦略の進捗状況の概要について

(1) 基本事項

① 戦略の位置付け・目的

日吉津村地方創生総合戦略は、平成 26 年 11 月に制定された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、本村の実情に応じた「まち・ひと・しごと創生」に関する施策について基本的な方向を定めるものです。

本村では平成 27 年 9 月に「日吉津村地方創生総合戦略」（第 1 期総合戦略）及び「日吉津村人口ビジョン」を策定し、各施策に取り組んできました。

また、令和 3 年 2 月には、国の動向を踏まえ、人口、経済、地域社会の課題に一体的・持続的に取り組むため「第 2 期日吉津村地方創生総合戦略」（第 2 期総合戦略）を策定し、村の最上位計画である第 7 次日吉津村総合計画に掲げる基本構想を踏まえつつ、「人口減少の歯止め」「人口減少社会の中での幸福な暮らしの維持」の 2 つの視点にたって本村独自の総合戦略として集中的に展開してきました。

令和 8 年 6 月には、第 7 次日吉津村総合計画後期計画と第 3 期日吉津村地方創生総合戦略を一体化して策定し、村の施策を総合的かつ効率的・効果的に進めていく方針で展開していきます。

② 戦略の期間

令和 3 年 4 月～令和 8 年 3 月

③ 戦略の骨格

～日吉津村の地方創生～

◎ 2060 年(R42)に 3,600 人の人口を目指します。

◎ 4 つの項目によりこの戦略を推進します。

- ①住んでみたい、住み続けたいむらづくり（住むなら日吉津！）
- ②結婚・出産・子育てしやすいむらづくり（子育てなら日吉津！）
- ③働き続けられるむらづくり（仕事づくり！）
- ④魅力あふれるむらづくり（元気なむらづくり！）

(2) 人口の状況

村では以下の人口ビジョンを掲げています。

2060年（R42）に3,600人の人口を目指す

【日吉津村の人口動態（基準日1月1日）】

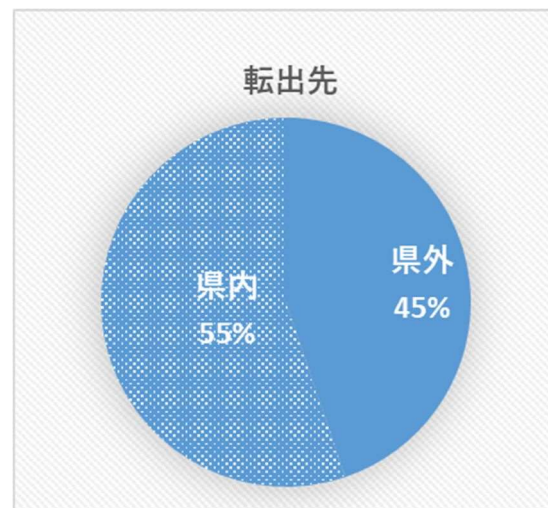
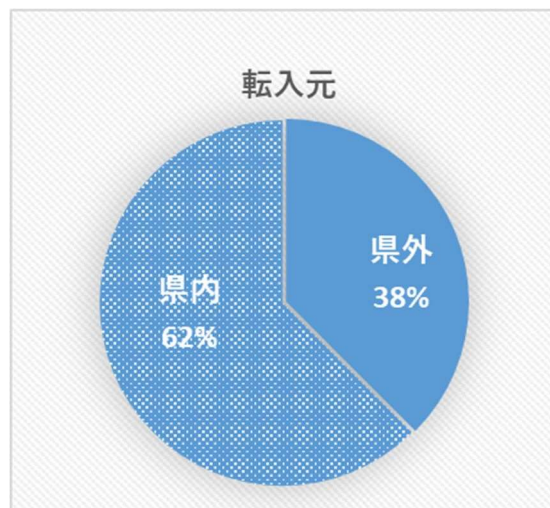
（単位：人）

	H31.1	R2.1	R3.1	R4.1	R5.1	R6.1	R7.1	R8.1
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
人口	3,559	3,554	3,554	3,575	3,599	3,620	3,616	3,585
社会増減	9	△10	2	20	40	36	4	△19
転入計	214	176	166	169	186	176	168	143
県外転入者数	90	53	56	52	66	57	68	46
県内転入者数	124	123	110	117	120	119	100	97
転出計	205	186	164	149	146	140	164	162
県外転出者数	94	70	55	50	66	74	71	67
県内転出者数	111	116	109	99	80	66	93	95
自然増減	2	5	△5	△1	△15	△15	△11	△9
出生者数	33	42	31	31	30	24	28	31
死亡者数	31	37	36	32	45	39	39	40

【地域別の社会動態】

（単位：人）

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	合計
東京周辺 （東京・千葉・埼玉・神奈川）	△2	△9	△2	4	△9	△4	4	△5	△18
転入	9	4	4	13	6	10	19	9	74
転出	11	13	6	9	15	14	15	14	97
大阪周辺 （大阪・京都・兵庫）	△3	0	3	△8	△9	△16	△8	△7	△41
転入	8	12	13	4	5	4	9	9	64
転出	11	12	10	12	14	20	17	16	112
中国地方（島根県以外） （岡山・広島・山口）	△2	△17	3	△1	7	4	2	△6	△4
転入	47	10	23	9	14	14	16	10	143
転出	49	27	20	10	7	10	14	16	153
島根県	10	0	2	3	5	△1	0	2	19
転入	15	9	8	15	18	15	8	3	91
転出	5	9	6	12	13	16	8	1	70
その他の地域	△7	9	△5	4	6	0	△1	△5	6
転入	11	18	8	11	23	14	16	15	116
転出	18	9	13	7	17	14	17	20	115
県内	13	7	1	18	40	53	7	2	139
転入	124	123	110	117	120	119	100	97	813
転出	111	116	109	99	80	66	93	95	674
合計	9	△10	2	20	40	36	4	△19	101



本村の社会動態は、米子市をはじめとした県内からの流入が継続してあるものの、関東や関西地方への流出が続いており、転出が上回っていることにより減少している状況です。

(3) 基本目標と重要業績評価指標 (KPI) の状況 (令和7年度末時点)

👉 次ページ参照

基本目標 1	住んでみたい、住み続けたいむらづくり						
目標	日吉津村の暮らしやすさ、立地条件の良さ、自然環境の住みやすさを広く発信し、移住定住の促進を図ります。						
◆数値目標（KGI）							
指標項目	人口の社会動態						
	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	R3からR7の累計
目標値	R1	—	—	—	—	—	75人
実績値	66人	20人	40人	36人	4人	-19人	81人
達成度		26.7%	53.3%	48.0%	5.3%	-25.3%	108.0%
◆戦略の進捗分析／評価（総括）							
【人口の社会動態】 令和2年と令和7年（速報集計）の国勢調査を比べると、鳥取県内全ての市町村で人口が減少しており、日吉津村は-0.31%の減少率でした。 令和7年12月末時点の日吉津村の総人口は3,585人で、令和7年1月から12月の社会増減数は-19人（転入：143人 転出：162人）でした。 基本目標1の目標値は、人口の社会動態が令和3年から令和7年までの5年間の累計が75人以上になることであるため、目標数値（KGI）は「達成」と評価することができます。 また、日吉津村への移住者の前住所地をみると、県内では米子市、県外では東京都に次いで岡山県、大阪府、京都府、兵庫県、島根県、広島県、山口県からの転入が多くなっています。							

基本目標 1	住んでみたい、住み続けたいむらづくり	11 住み続けられるまちづくりを		
施策 1-1	移住・定住支援			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	移住定住総合相談窓口の拡充を行い移住希望者の支援を行うとともに、空き家情報の情報発信や住宅に関する各種補助制度を活用することで、移住者が日吉津村で安心して定住できる村をめざします。								
事業内容 (P)	主な事業の概要								
	【事業名】	移住定住支援事業					【担当課】	総務課	
	【事業概要】	移住定住総合相談窓口を設置し、結婚から就労、定住まで、IJUターン希望者を総合的に支援します。							
	【事業名】	移住定住支援金					【担当課】	総務課	
	【事業概要】	東京23区から日吉津村に移住し、鳥取県が指定する事業所に就職した方へ交付金を支給することで移住しやすい環境を整えます。							
	【事業名】	結婚・子育て世帯等応援補助金					【担当課】	総務課	
	【事業概要】	村内に新規で専用户建住宅を取得し、継続して村にお住いの40歳未満の世帯へ補助金を支給し定住を図ります。							
	【事業名】	空き家の解消と住宅建築可能土地の確保					【担当課】	総務課	
	【事業概要】	空き家や宅地情報について村のホームページに掲載するとともに、所有者へ早期にアプローチをして土地や住宅の利活用を推進します。							
評価指標 (KPI)	指標項目	20～30代の転入者数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	R3からR7の平均	
	目標値	R1	—	—	—	—	—	100人	
	実績値	100人	101人	105人	96人	86人	88人	95.2人	
	達成度		101.0%	105.0%	96.0%	86.0%	88.0%	95.2%	
評価指標 (KPI)	指標項目	20～30代の転出者数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	R3からR7の平均	
	目標値	R1	—	—	—	—	—	90人	
	実績値	94人	85人	79人	83人	94人	87人	85.6人	
	達成度		94.4%	87.8%	92.2%	104.4%	96.7%	95.1%	
評価指標 (KPI)	指標項目	専用住宅新築棟数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	R3からR7の累計	
	目標値	R1	—	—	—	—	—	50棟	
	実績値	17棟	18棟	25棟	21棟	16棟	9棟	89棟	
	達成度		36.0%	50.0%	42.0%	32.0%	18.0%	178.0%	

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) - 東京23区移住者支援金 0件 (東京23区から村に移住し、指定事業所等に就職した方へ支援金支給) - 令和7年度結婚・子育て世帯等応援補助金 8件 (40歳未満の世帯が、村内で新築または中古住宅を取得した場合に補助) - 令和7年度結婚・子育て世帯等定住促進補助金 8件 (応援補助金の受給世帯が、村居住後5年以上経過及び住宅取得後3年以上経過した場合に補助)	
評価 (C)	成果	・各種補助金が生きて世代の移住のきっかけとなり、専用住宅の新築棟数が178%を達成した。
	課題	- 令和5～7年にかけて、20～30代の転入者数が目標値を下回っており、次の施策の検討が必要。 - 住宅取得希望者からの問合せはあるが、村内の土地物件が限られている。

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	・引き続き、移住者及び子育て世代への支援や住宅・土地等の情報収集を実施予定
----------------	---------------------------------------

基本目標 1	住んでみたい、住み続けたいむらづくり	11 住み続けられるまちづくりを	17 パートナシップで目標を達成しよう	
施策 1ー2	シティプロモーションの推進			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	日吉津村の魅力を効果的に発信し「ひえづのファン」を増やすことで交流人口を増やし、「まち」と「人」が魅力を高めあう好循環が生まれる村をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	地域魅力発信事業				【担当課】	総務課	
	【事業概要】	各種媒体（総合パンフレット、SNS等）を活用して、日吉津村の魅力を村内外に発信します。						
	【事業名】	ホームページ運営事業				【担当課】	総務課	
	【事業概要】	村のお知らせや各種施策についてわかりやすく伝わるよう、村のホームページを運営しています。						
評価指標 (KPI)	指標項目	SNS 投稿数（Instagram）						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	R3からR7の累計
	目標値	R1	—	—	—	—	—	400件
	実績値	10件	4件	175件	235件	318件	273件	1005件
	達成度		1.0%	43.8%	58.8%	79.5%	68.3%	251.3%

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	（活動実績） ・ショッピングセンターでのPRブースにてパンフレットを毎月30部程度配架 （結婚支援えんトリー、各キャンペーン、移住定住情報誌、観光関係、図書館だより等） ・全国の鳥取県ファンに日吉津村パンフレットを2500部送付 （アンテナショップや鳥取県の関西本部・東京本部などにも送付） ・Instagram等で発信するにあたり、人物写真など堅くなりすぎないものを掲載するよう心掛けた。						
評価 (C)	成果	・Instagramのフォロワーが増え、「インスタの投稿を見ました」と来庁される方もあった。 ・ショッピングモールと連携し、継続的にパンフレットや広報誌の配架を実施。手に取ってくださる方が多く、月の半ばまでに配架物がなくなることもある。					
	課題	・Instagramのアカウントについて、これまで通り1つのアカウントで管理するのか、役場と図書館など別のアカウントで発信するのか検討が必要。 ・広報誌が配布されない家庭に村の情報が届きにくい。					

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	・引き続き情報発信の強化、「ひえづのファン」拡大による交流人口の増加や地域コミュニティの活性化を目指す。 ・村民を対象に魅力を再発見する事業の実施。 ・LINEサポート事業者による職員研修(SNS投稿等)の実施。						
----------------	--	--	--	--	--	--	--

基本目標 1	住んでみたい、住み続けたいむらづくり	8 観光誘客も 関係民も	17 パートナリングで 目標を達成しよう	
施策 1-3	地域とつながるにぎわいの創出			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	観光誘客を促進するため海浜エリア活性化など、地域資源の活用を推進するとともに、ふるさと納税を活用し交流人口の増加をめざします。								
事業内容 (P)	主な事業の概要								
	【事業名】	大山山麓・日野川流域観光推進協議会広域連携事業					【担当課】	総務課	
	【事業概要】	つながるマルシェの開催や観光雑誌への広告の掲載など広域で取り組んでいます。							
	【事業名】	海浜エリアの活性化					【担当課】	総務課	
	【事業概要】	海浜運動公園をはじめ、海浜エリアの活性化に向け検討委員会等を開催し、魅力のある海浜エリアによる交流人口の増加をめざします。							
	【事業名】	海浜運動公園管理事業					【担当課】	総務課	
	【事業概要】	海浜運動公園を快適に利用できるように、有料施設の運営・管理を行っています。							
	【事業名】	ふるさと納税推進事業					【担当課】	総務課	
評価指標 (KPI)	指標項目	観光入込客数（米子・皆生温泉周辺エリア）							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	R3からR7の平均	
	目標値	R1	—	—	—	—	—	1,000千人	
	実績値	1,024千人	689千人	929千人	1,198千人	1,050千人	8月末公表	千人	
	達成度		68.9%	80.9%	93.9%	96.7%		%	
	指標項目	海浜運動公園利用者数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	R3からR7の平均	
	目標値	R1	—	—	—	—	—	14,000人	
評価指標 (KPI)	実績値	13,583人	7,785人	10,029人	13,439人	12,197人	4,315人	9,553人	
	達成度		55.6%	71.6%	96.0%	87.1%	30.8%	68.2%	
	指標項目	ふるさと納税寄附額							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7		
	目標値	R1	100,000千円	100,000千円	100,000千円	100,000千円	100,000千円		
評価指標 (KPI)	実績値	198,930千円	92,945千円	63,233千円	66,131千円	39,932千円	46,063千円		
	達成度		92.9%	63.2%	66.1%	39.9%	46.1%		
	指標項目	企業版ふるさと納税寄附額							
		基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R3からR7の累計
	目標値	R1	—	—	—	—	—	—	10,000千円
評価指標 (KPI)	実績値	—	1,500千円	4,000千円	9,400千円	5,100千円	5,500千円	5,400千円	29,400千円
	達成度			40%	94%	51%	55%	54%	294.0%

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) ・海浜運動公園第1期工事につき、8月末までの利用のみ。 ・ふるさと納税について、委託業者や運用管理サイト等の変更など、運用について見直しを行った。また、本村としてはじめてふるさとチョイス大感謝祭に出展し、日吉津村のPRを実施した。 ・個人版ふるさと納税寄附件数 1,408件 ・企業版ふるさと納税寄附企業数 R2 (2社)、R3 (3社)、R4 (11社)、R5 (10社)、R6 (延べ12社)、R7 (延べ9社)	
評価 (C)	成果	・ふるさと納税寄附額をV字回復することが出来た。また、委託業者を変更、新たな返礼品事業者を増やし、返礼品の強化を行った。 ・企業版ふるさと納税に御協力いただいた企業に対して、感謝の意を表するとともに、企業の社会貢献を広く周知、官民連携を推進するため感謝状の贈呈式を実施した。
	課題	・海浜エリア再整備事業（第2期工事）を進め、年度末の完成を目指すため、事業者との打ち合わせや進捗管理を確実に進めていく必要がある。 ・ふるさと納税の引き続き魅力的な返礼品の開発や広報が必要。

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	・海浜エリア再整備事業（第2期工事）を実施する。 ・海浜エリア再整備事業（第3期工事）の内容の決定と、業者選定をおこなう。 ・ふるさと納税の村内返礼品事業者と連携し、日吉津産の返礼品を増やし魅力発信を強化 ・返礼品事業者と寄附された方のつながりを強化できるよう、交流イベント開催等を検討 ・企業版ふるさと納税の寄附を活用し、村事業の充実・強化により、村の活性化につなげる。
------------------------	--

基本目標 1	住んでみたい、住み続けたいむらづくり	9 高齢と生活支援の 事業をつくらう		
施策 1－4	未来技術の活用			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	デジタル技術を活用してあらゆる世代に使いやすい行政サービスを提供し、ニューノーマル（新しい生活様式）に対応した村をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	情報システム等整備事業				【担当課】	総務課	
	【事業概要】	自治体DXの推進を図り、行政手続きのオンライン化などデジタル技術を活用し、行政サービスの向上を推進します。						
評価指標 (KPI)	指標項目	住民向けAIチャットボット質問数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	R3からR7の累計
	目標値	R1	—	—	—	—	—	500件
	実績値	—	—	249	191	499	956	1895件
	達成度		—	49.8%	38.2%	99.8%	191.2%	379.0%
評価指標 (KPI)	指標項目	電子申請手続き様式数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	R3からR7の累計
	目標値	R1	—	—	—	—	—	20様式
	実績値	—	5様式	23様式	24様式	41様式	53様式	146様式
	達成度		25.0%	115.0%	120.0%	205.0%	265.0%	730.0%

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) ・住民向け行政サービス (コンビニ交付をR5.4月から開始、R7実績：住民票323通/1281通、印鑑証明210通/875通、所得課税証明56通/各種税証明1,254通 ※各種税証明のうち所得課税証明書のみコンビニ交付可) ・ショートメッセージサービスの活用(空き土地情報、会議開催通知等)	
評価 (C)	成果	・役場へ来庁不要で様々な手続きが可能となり、住民の利便性向上につながった。
	課題	・DX推進には多額な予算が必要であり、村民の利便性向上と併せて導入経費やランニングコスト等の費用対効果の検証が必要。

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	・公共施設オンライン予約サービスや電子決済の導入などの検討を進める。 ・マイナンバー独自利用による住民サービスの向上、AIやChatGPT活用等による事務の効率化を検討。
----------------	--

基本目標 2	結婚・出産・子育てしやすいむらづくり							
目標	未婚・晩婚化の進行に歯止めをかけ、充実した子育て環境を提供することで、安心して子育てができる村をめざします。							
◆数値目標（KGI）								
指標項目	婚姻届出数							
	基準値	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1からR6の累計
目標値	H30	—	—	—	—	—	—	100組
実績値	17組	17組	14組	17組	16組	7組	10組	81組
達成度		17.0%	14.0%	17.0%	16.0%	7.0%	10.0%	81.0%
指標項目	合計特殊出生率							
	基準値	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R1からR6の平均
目標値	H30	—	—	—	—	—	—	1.70
実績値	1.75	2.27	1.68	1.62	1.78	1.14	1.57	1.68
達成度		133.5%	98.8%	95.3%	104.7%	67.1%	92.4%	98.6%
◆戦略の進捗分析／評価（総括）								
※令和7年度評価の内容								
【婚姻届出数】 数値目標（KGI）は令和元年から令和5年の累計で婚姻届出数が100組になることを設定しており、20組（100組/5年＝20組）の婚姻届出数を超えると目標を達成しているといえます。 令和6年（R6.1～R6.12）の婚姻届出数は10組（鳥取県合計：1,738組）単年達成度は50.0%であるため、「努力を要する」と評価できます。令和元年（H31.1～R元.12）～令和6年（R6.1～R6.12）実績値の合計は81組であり、6年間でも目標値を達成することは出来ませんでした。 社会情勢や若年層の結婚観などの把握が必要と考えられます。 【合計特殊出生率】 数値目標（KGI）は令和元年から令和5年の平均で合計特殊出生率が1.70であることを設定しており、1.70以上であれば目標を達成しているといえます。令和元年（H31.1～R元.12）～令和6年（R6.1～R6.12）実績値の平均値は1.676であり、目標を「ほぼ達成」と評価することができます。								

基本目標 2	結婚・出産・子育てしやすいむらづくり	5 ジェンダー平等を 実現しよう		
施策 2-1	結婚支援			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	結婚希望者の意向を実現し、未婚・晩婚化の解消をめざします。						
事業内容 (P)	主な事業の概要						
	【事業名】	結婚支援事業				【担当課】	総務課
	【事業概要】	鳥取県が運営している結婚サポート団体である「えんトリー」の登録経費を助成し、結婚に結びつくよう応援をしています。					
評価指標 (KPI)	指標項目	えんトリー登録者数					
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7
	目標値	—	—	—	—	—	10人
	実績値	—	5人	4人	1人	2人	18人
	達成度		50.0%	40.0%	10.0%	20.0%	60.0%

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) ・えんトリーを広報誌、ホームページ、113ch、イオンモール日吉津で周知 ・えんトリー及び鳥取県主催の婚活イベントをホームページで周知 ・西部圏域での婚活イベントの実施 ・えんトリー無料相談・登録会を村内で実施	
評価 (C)	成果	・周知の効果でえんトリーの登録者が増加した。
	課題	・えんトリーおよび近隣自治体と連携した広域的な婚活イベント及びサポートが必要。

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	- 引き続き、えんトリーの周知を行い入会登録を促進して結婚のサポートをしていく。 - 近隣自治体との広域連携によるイベント開催等で出合いやつながりを広げていく取組を実施 - 日吉津村のキャンプ場等を活用し、若者が集える出合いの場づくりを検討
----------------	--

基本目標 2	結婚・出産・子育てしやすいむらづくり	3 すべての人に 産後と育児を	5 ジェンダー平等を 実現しよう	
施策 2-2	日吉津版ネウボラの深化			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	子どもの発達段階や個々の特性に応じた切れ目のない支援を行い、安心して子育てができる村をめざします。						
事業内容 (P)	主な事業の概要						
	【事業名】	妊娠出産包括支援事業				【担当課】	福祉保健課
	【事業概要】	子育て世代包括支援センター「すまいるはぐ」を設置し、出産から子育てまで切れ目のない支援を行います。					
評価指標 (KPI)	指標項目	出生数					
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7
	目標値	H31	40人	40人	40人	40人	40人
	実績値	42人	31人	30人	31人	22人	31人
	達成度		77.5%	75.0%	77.5%	55.0%	77.5%
評価指標 (KPI)	指標項目	保育所等待機児童数					
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7
	目標値	R1	0人	0人	0人	0人	0人
	実績値	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	達成度		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) - 母子保健コーディネーターが妊娠期から継続的に情報提供や相談支援を実施し、必要時は産後ケアや医療機関につながる育児不安の解消を図った。 - 妊婦支援給付金については、対象者全員が申請することができた。 - ミライトひえつとの連携により、保健師・担任保育士が発達面で支援を要する子どもの受診に同行し、必要な支援について保護者と共有ができた。また、就学前児のある家庭には教育委員会と連携し、就学先についての情報提供や相談など切れ目のない支援を行うことができた。	
評価 (C)	成果	- 産後ケア事業の利用者が増加したことで、保護者の育児負担感の軽減につながった。 - 発達面についての受診や障がい福祉サービス事業につながることができた。 - 妊娠期、出生時、3歳児健康診査時に子育てプランを配布することで、子育て関連について村で利用できる制度や資源を周知することができた。
	課題	- 子育て応援アプリ「母子モ」を活用される世帯に偏りがある。 - 育てにくさ(*1)を感じている保護者への支援策が、現状は個別での支援が中心でペアレント・トレーニング(*2)などの小集団で実施する事業が少ない。 *1育てにくさ：保護者が子育てに強い困難感や負担を感じる状態のこと（必ずしも発達特性があるわけではない）。「何をしても泣き止まない」「多動・衝動性」「自己主張やこだわりが強い」などによる。 *2ペアレント・トレーニング：子どもへの望ましいほめ方や対応方法を学ぶ会。

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	・引続き、ミライトひえつの特長を活かした子育て支援を推進すると共に、児童福祉・母子福祉等の情報を共有しながら各セクションが連携し、切れ目のない子育て支援の一層の推進を図ります。
----------------	--

基本目標 2	結婚・出産・子育てしやすいむらづくり			
施策 2-3	教育の充実			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	学校・地域が連携し、将来日吉津村に貢献する人材をとともに育成します。								
事業内容 (P)	主な事業の概要								
	【事業名】	コミュニティ・スクール事業					【担当課】	教育委員会	
	【事業概要】	地域の住民、保護者等と学校の相互理解を深め、信頼される学校を構築します。							
	【事業名】	GUTS日吉津っ子育成事業					【担当課】	教育委員会	
	【事業概要】	学校・家庭・地域が連携をしながら、地域に根差した体験学習等を提供し、子どもの健全育成を図ります。							
	【事業名】	地元人材育成奨学金支援事業					【担当課】	教育委員会	
	【事業概要】	奨学金を受けている方が大学卒業後、日吉津村に戻り地元の企業に通勤する場合、奨学金の返還額を補助することで、人材の確保を図ります。							
評価指標 (KPI)	指標項目	日吉津小学校への入学者数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	R3からR7の平均	
	目標値	R2	—	—	—	—	—	36人	
	実績値	31人	36人	36人	45人	37人	47人	40.2人	
	達成度		100.0%	100.0%	125.0%	102.8%	130.6%	111.7%	
評価指標 (KPI)	指標項目	カルチャー土曜塾参加者数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	R1	140人	140人	140人	140人	140人		
	実績値	135人	146人	207人	224人	201人	250人		
	達成度		104.3%	147.9%	160.0%	143.6%	178.6%		
評価指標 (KPI)	指標項目	コミュニティ・スクールの新たな取り組み提案数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	—	1回	1回	1回	1回	1回		
	実績値	—	1回	1回	1回	0回	1回		
	達成度		100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%		
評価指標 (KPI)	指標項目	日吉津村地元人材育成奨学金支援事業利用者数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	R3からR7の累計	
	目標値	R1	—	—	—	—	—	5件	
	実績値	1件	1件	1件	0件	1件	5件	8件	
	達成度		20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	100.0%	160.0%	

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) ・小学校運営協議会を5回開催し、1・2年生生活科「昔遊び」等に参加。 ・第6回日吉津村熟議(テーマ「子どもと地域・各世代のかかわりあいを深めるために」)を実施。33名が参加。熟議には教職員、保護者、地域の方に加えて、中学生が参加。 ・カルチャー土曜塾で、定期コースとして漢字、茶道、スポーツ、創作に加え「こども放送局」を新設。体験コースとしてフィッシングスクールと釣り大会を実施した。	
評価 (C)	成果	・カルチャー土曜塾について、定期コースを年5回実施し、開講式・閉講式を行うことで地域の方と児童が顔を合わせる場を設けた。体験活動のニーズは高く参加を希望する児童が多い状態が継続。ボランティアも徐々に広がりを見せており、協力者が増えつつある。 ・6回目となる熟議では、様々な世代の参加者が集まったことにより、テーマ「子どもと地域・各世代のかかわりあいを深めるために」に沿って、多様な意見を交流することができた。
	課題	・カルチャー土曜塾に参加する児童数の増加に伴い、地域ボランティアの拡大と取組み内容の検討が必要である。学校運営協議会の取組として、地域ボランティアの拡大とボランティアの学校教育への参画に向けていっそう努めていきたい。 ・コミュニティ・スクールは、地域住民の学校教育への参画を推進しているが、取組みの可視化と発信にも務めたい。

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	・子育て支援、幼保小連携を引き続き充実させ、きめ細やかな児童への指導及び支援体制の整備、体験活動の充実、コミュニティ・スクールを中心とした地域とともにある学校づくりに努めます。カルチャー土曜塾のあり方について、従来の定期的な活動から参加型かつキャリア教育に焦点を当てた取組みとして新たに実施します。 ・日吉津村地元人材育成奨学金支援事業の内容について奨学金利用者に伝え、事業を活用いただけるように努めます。
----------------	--

5 ジェンダー平等を
実現しよう

1. 総合戦略基本事項

施策目標	新しく建設される複合型子育て拠点施設においても、地域との交流等を積極的に行い、安心して子育てができる村をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	複合型子育て拠点施設整備事業					【担当課】	福祉保健課
	【事業概要】	保育所・児童館・子育て支援センター・民俗資料館を複合化した子育て拠点施設を建設します。						
	【事業名】	子育て支援センター運営事業					【担当課】	福祉保健課
	【事業概要】	地域における子育て支援の拠点として、子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談、援助等を行います。						
評価指標 (KPI)	指標項目	子育て支援センター利用者数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	2500組	2500組	2500組	2500組	2500組	
	実績値	2209組	1201組	1030組	1278組	1073組	1259組	
	達成度		48.0%	41.2%	51.1%	42.9%	50.4%	
評価指標 (KPI)	指標項目	ファミリーサポートセンター登録者数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	75人	75人	75人	75人	75人	
	実績値	67人	62人	66人	65人	63人	66人	
	達成度		82.7%	88.0%	86.7%	84%	88%	

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) ・複合型子育て拠点施設の完成、令和4年9月5日から供用開始した。 ・子育て支援センターを開所：月～金（日・祝日、年末年始を除く）午前9時～午後4時 土 午前9時～正午 ※金曜日のみ村外者利用可				
評価 (C)	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="304 1193 451 1532"> 成果 </td><td data-bbox="451 1193 1414 1532"> ・ミライトひえづの供用開始後4年経過し認知度は向上しており、現在も視察の受入れがある。 ・こども園では、R7年度より地域の皆さんとの交流事業を開始した。（R7年度は米作りを実施。田植えや稲刈りを指導いただきながら体験し、できたお米をおにぎりにして一緒に食べることができた。） ・母親の疾病等日中の育児が困難となったケースなど、特に支援の必要なケースに対して、一時預かりやファミサポが連携して支援を行うことができている。 ・子育て支援センターではコロナ後村外利用日（金曜日）を設け利用いただいており、少しずつ要望に応えられている。 ・こども園の入園に向けて、支援センターと一時預かりの適切な連携が図れている。 ・保育室増設後、3歳以上児をすべて2クラス運営とし、引続ききめ細かな保育の提供ができている。 </td></tr> <tr> <td data-bbox="304 1532 451 1641"> 課題 </td><td data-bbox="451 1532 1414 1641"> ・子育て支援センターでは村外利用日を増やしてほしいという要望がある中、一時預かり保育やこども園の保育補助も行っており、職員体制の確保が課題となっている。 ・ファミリーサポートセンターの利用希望に対して、支援会員数が少ないため、要望に応えきれていない状況となっている。会員の確保は引続き課題である。 </td></tr> </table>	成果	・ミライトひえづの供用開始後4年経過し認知度は向上しており、現在も視察の受入れがある。 ・こども園では、R7年度より地域の皆さんとの交流事業を開始した。（R7年度は米作りを実施。田植えや稲刈りを指導いただきながら体験し、できたお米をおにぎりにして一緒に食べることができた。） ・母親の疾病等日中の育児が困難となったケースなど、特に支援の必要なケースに対して、一時預かりやファミサポが連携して支援を行うことができている。 ・子育て支援センターではコロナ後村外利用日（金曜日）を設け利用いただいており、少しずつ要望に応えられている。 ・こども園の入園に向けて、支援センターと一時預かりの適切な連携が図れている。 ・保育室増設後、3歳以上児をすべて2クラス運営とし、引続ききめ細かな保育の提供ができている。	課題	・子育て支援センターでは村外利用日を増やしてほしいという要望がある中、一時預かり保育やこども園の保育補助も行っており、職員体制の確保が課題となっている。 ・ファミリーサポートセンターの利用希望に対して、支援会員数が少ないため、要望に応えきれていない状況となっている。会員の確保は引続き課題である。
成果	・ミライトひえづの供用開始後4年経過し認知度は向上しており、現在も視察の受入れがある。 ・こども園では、R7年度より地域の皆さんとの交流事業を開始した。（R7年度は米作りを実施。田植えや稲刈りを指導いただきながら体験し、できたお米をおにぎりにして一緒に食べることができた。） ・母親の疾病等日中の育児が困難となったケースなど、特に支援の必要なケースに対して、一時預かりやファミサポが連携して支援を行うことができている。 ・子育て支援センターではコロナ後村外利用日（金曜日）を設け利用いただいており、少しずつ要望に応えられている。 ・こども園の入園に向けて、支援センターと一時預かりの適切な連携が図れている。 ・保育室増設後、3歳以上児をすべて2クラス運営とし、引続ききめ細かな保育の提供ができている。				
課題	・子育て支援センターでは村外利用日を増やしてほしいという要望がある中、一時預かり保育やこども園の保育補助も行っており、職員体制の確保が課題となっている。 ・ファミリーサポートセンターの利用希望に対して、支援会員数が少ないため、要望に応えきれていない状況となっている。会員の確保は引続き課題である。				

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	・こども園では、地域の皆さんにお世話になり、交流事業を継続して実施します。 ・ミライトひえづに関する情報が広く村民に届くように、効果的な情報発信に努めます。 ・ファミリーサポートセンターの支援会員数を増やすために、ミライトひえづに関わる地域の方々にアプローチを図ります。 ・子育て支援センターでは、要望に応え村外利用日を2日実施するが、未だに増やして欲しいとの要望もあり、課題解決に向け引き続き職員体制等について検討を行います。
------------------------	---

基本目標 3	働き続けられるむらづくり						
目標	住民の生活を支えるとともに、若年層やIJUターンの就労を望む方が希望に沿った就労ができる村をめざします。						
◆数値目標（KGI）							
指標項目	総人口に対する生産年齢人口						
	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
目標値	R2	—	—	—	—	57.4%	
実績値	57.0%	56.50%	56.48%	56.43%	56.22%	55.98%	
達成度		98.4%	98.4%	98.3%	97.9%	97.5%	
◆戦略の進捗分析／評価（総括）							
※令和7年度評価の内容							
【総人口に対する生産年齢人口】 基本目標3に対する数値目標（KGI）は、総人口に対する生産年齢人口を設定しており、国勢調査の結果を実績値として評価することとしておりますので、令和7年国勢調査の結果をもって達成度を判断します。 令和2年の国勢調査における日吉津村の結果を鳥取県内で比較すると、生産年齢人口の割合は鳥取市、米子市に次ぐ県で3番目に高い値です。15歳未満人口の割合は14.6%と県下で一番高く、また、65歳以上の高齢者人口については28.4%と県下で一番低い値でした。 参考に、令和7年12月末時点の住民基本台帳上の人口をみると、総人口3,585人に対して、15～64歳人口が2,007人ですので、総人口に対する生産年齢人口は55.98%（2,007人/3,585人＝55.98%）となり、「おおむね達成」と評価できます。 過去8年間の本村の生産年齢人口の割合について住民基本台帳上の人口を参考にしますと、H29 57.8%、H30 57.4%、R元 57.4%、R2 57.0%、R3 56.5%、R4 56.48%、R5 56.43%、R6 56.22%、R7 55.98%であり減少傾向にあります。令和7年における15～64歳の社会増減をみると、転入者は143人、転出者は162人と、転入者を上回る転出者でした。							

基本目標 3	働き続けられるむらづくり	8 働きがいも 経済成長も	17 パートナリングで 信頼を築き上げる	
施策 3-1	持続的な地域経済の実現			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	地域経済を支える地元企業が地域の担い手となり、持続的に活躍することをめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	商工振興事業				【担当課】	総務課	
	【事業概要】	商工団体と連携し、中小事業所の経営安定、福利厚生の上昇及び地域経済の活性化等を図ります。						
	【事業名】	新型コロナウイルス対策金融支援事業（感染症対策事業）				【担当課】	総務課	
	【事業概要】	新型コロナ対策融資に係る利子負担を軽減することにより、資金を借り入れた事業者の経営安定を図ります。（新型コロナウイルス感染症対応利子補給事業補助金） アフターコロナを見据え、経営計画の策定を支援することにより、中小企業者の経営能力等の向上を図ります。（米子日吉津商工会経営診断計画策定業務補助金） 新型コロナ感染拡大に伴い、影響を受けている村内事業者に対し、鳥取県と協調し給付的支援を行い事業継続と雇用の維持を図ります。（コロナ禍克服支援給付金）						
	【事業名】	新型コロナ経済対策商品券事業				【担当課】	総務課	
	【事業概要】	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い落ち込んだ消費を改善するために、商品券を発行して村内経済の活性化を図ります。						
評価指標 (KPI)	指標項目	地域経済循環率						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	H27					75.5%	
	実績値	75.0%	77.6%	69.8%	内閣府 公表データなし			
	達成度		102.8%	92.5%				

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	（活動実績） ・ 中小企業小口融資預託 2件 ・ 米子日吉津商工会運営補助 ・ 新型コロナウイルス感染症対応利子補給事業補助金 金融機関 6機関、事業者 34件（融資に係る利子負担の軽減） ・ 新規創業支援補助金 1件	
評価 (C)	成果	・ 関係機関と連携を図りながら、利子補給等を行い、事業継続の支援を実施。
	課題	・ 進学等で若い方が村外へ転出するケースが多くあり、雇用先の確保が課題

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	・ 商工団体と定期的に情報交換等を実施し、中小事業者のニーズ把握に努める。 ・ 創業支援補助金の予算を確保し、新規創業への取組を支援 ・ 今年度の事業を継続し、来年度も県と協調した利子補給事業を継続予定
----------------	---

■地域経済循環率：生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値であり、地域経済の自立度を示している。循環率が高いほど地域の稼ぐ力が強いといえる。

基本目標 3	働き続けられるむらづくり	15 緑の豊かさ アスファルト		
施策 3-2	農業の活性化			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	農業者が安心して農業に従事できる村をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	がんばる地域ブラン事業				【担当課】	建設産業課	
	【事業概要】	「がんばる地域ブラン」により、事業基盤の強化や農業生産性の向上、多様な担い手の確保を図ります。						
	【事業名】	農業農村整備事業				【担当課】	建設産業課	
	【事業概要】	農業用施設の整備、補修等を行うことにより、農業の振興を図ります。						
評価指標 (KPI)	指標項目	農業の担い手数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	7人	
	実績値	5人	5人	5人	6人	6人	6人	
	達成度		71.4%	71.4%	85.7%	85.7%	85.7%	
評価指標 (KPI)	指標項目	アスパルへ出荷する農家数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	60戸	
	実績値	40戸	33戸	35戸	36戸	42戸	44戸	
	達成度		55.0%	58.3%	60.0%	70.0%	73.3%	

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) ・農作業お助け隊員の募集、農作業お助け隊と作業を希望する方とのマッチング ・環境農業維持支払交付金の支払 ・地方創生関連事業と連携した村の宝（新たな特産品）づくりの取組 ・畦畔撤去作業等補助制度の実施	
評価 (C)	成果	・農作業お助け隊登録者：10名、農作業のマッチング：12件 ・環境農業維持支払交付金 対象者：53名、対象面積：13.3ha ・イチジク栽培先進地（愛知県田原市）視察参加、イチジク生産振興協議会の開催 ・畦畔撤去作業等補助 実施件数：13件、実施面積：22,628㎡
	課題	・チューリップは、農業経営として栽培する農家が減少し、委託栽培で維持しているのが現状であり、今後は、農業分野以外での取り組みも検討する必要があります。 ・農業の活性化に向けて、新たな特産品づくりが必要です。

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	・がんばる地域プラン事業については、見直し後の内容に沿って優先度の高いものから実施する。 ・村内外から幅広い担い手の確保に努めるとともに、令和6年度に策定した地域計画を毎年ブラッシュアップ（見直し）することにより、農地利用の集積、集約化を推進する。 ・畦畔撤去作業等補助制度は、国の大区画化等加速化支援事業に移行する。
----------------	---

基本目標 4	魅力あふれるむらづくり						
目標	地域の絆を深め、村内外に元気な村のイメージを広め、人口減少社会にあっても定住先に選ばれる村をめざします。						
◆数値目標（KGI）							
指標項目	日吉津村が住みやすいと感じる方の割合						
	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
目標値	—	—	—	—	—	50.0%	
実績値	45.4%	—	—	—	47.1%	—	
達成度		—	—	—	94.2%	—	
指標項目	日吉津村に住み続けたい方の割合						
	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
目標値	—	—	—	—	—	60.0%	
実績値	59.9%	—	—	—	54.1%	—	
達成度		—	—	—	90.2%	—	
◆戦略の進捗分析／評価（総括）							
※令和7年度の村づくりアンケートの内容							
基本目標4に対する数値目標（KGI）は、日吉津村が住みやすいと感じる方の割合と日吉津村に住み続けたい方の割合を設定しています。この指標項目では、18歳以上の方を対象とした「むらづくりアンケート」の調査結果で評価をしています。 【日吉津村が住みやすいと感じる方の割合】 令和6年度に実施した調査では、令和2年度に実施した調査と同様に30歳代が日吉津村を高く評価する傾向が強く、特に「買物など日常生活が便利（90.7%）」「子育て・教育環境が整っている（62.8%）」の項目で、住みやすいと感じる方の割合が、他の層と比べ高くなっています。これは国道431号沿いの商業施設や小学校・ミライトひえづ（こども園、児童館など）の取り組みが子育て世代に支持されているためと推測できます。「どちらかといえば住みやすい」と感じる方を含めると89%の方が住みやすいと回答しています。 【日吉津村に住み続けたい方の割合】 令和6年度に実施した調査では、特に29歳以下の「住み続けたい（25.0%）」と感じる方が2割近く減少したことが全体を引き下げた一因と考えられます。一方「どちらかといえば住み続けたい」と感じる方の割合が増加しており合計81.3%で、令和2年度調査82.6%と比較しても1.3%減という結果でした。 令和6年度調査では、「住み続けたくない」と回答された方へ理由を伺っており、「税金や公共施設等の使用料金が 高い」が最も高く、次いで「働く場所がない」「近所付き合いがしにくい」「通勤や通学など交通の便がよくない」の順となっていました。							

基本目標 4	魅力あふれるむらづくり	11 活きあふれるまちづくり	17 パートナシップで目標を達成しよう	
施策 4-1	人がつながるコミュニティづくり			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	地域コミュニティ活動の活性化を図り、協働と参画の村をめざします。								
事業内容 (P)	主な事業の概要								
	【事業名】	ヴィレステひえづ拠点事業					【担当課】	教育委員会	
	【事業概要】	生涯学習の場としてヴィレステひえづに村民が集い「元気な村づくり」を推進する人材を育成します。							
	【事業名】	コミュニティ活動支援事業					【担当課】	総務課	
	【事業概要】	コミュニティ支援スタッフを配置するとともに、コミュニティ活動支援事業助成金を活用した自治会等の主体的な活動を支援しています。							
評価指標 (KPI)	指標項目	ヴィレステひえづ利用者数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	R3からR7の平均	
	目標値	R1	—	—	—	—	—	33,000人	
	実績値	32,483人	35,610人	27,862人	33,642人	32,747人	36,811人	33,334人	
	達成度		107.9%	84.4%	101.9%	99.2%	111.5%	101.0%	
	評価指標 (KPI)	指標項目	コミュニティ支援助成制度利用件数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	R3からR7の累計	
目標値		—	—	—	—	—	—	25件	
実績値		4件	2件	4件	5件	4件	5件	20件	
達成度			8.0%	16.0%	20.0%	16.0%	20.0%	80.0%	

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) ・ふれあいフェスタ2025は、展示スペースをミライトひえづとヴィレステひえづに、飲食・販売・イベントスペースを小学校体育館に分けて開催。前年度と比べて出展者も増え、天候にも恵まれて賑やかに行われた。ステージイベントでは、小学校金管バンドの他にゲストとして米子北高校吹奏楽部にお越しいただき、迫力ある演奏に子どもから大人まで満喫された。 ・第7回日吉津村音楽祭開催 ・中学生サークルが、意欲的に活動できるよう支援を行った。 ・高校生サークルが、活動を開始した。 ・コミュニティ支援スタッフが定期的に自治会役員会等へ参加した。 ・複数の自治会がチャレンジサポート地域事業補助金を活用しており、自治会ごとの地域活動がさかんになっている。						
評価 (C)	成果	・ふれあいフェスタ2025は、ステージイベントや飲食スペースも設置し、昨年より多い出店があり、多くの来場者で賑わった。音楽祭は、11組のグループが出演し、来場者がヴィレステホールに入れないほど盛況であった。 ・令和7年度は、中高生サークルがチューリップマラソン、村民運動会、環境の日イベント、ヴィレステひえづ10周年記念イベント、ふれあいフェスタでのeスポーツ大会を企画運営（中学生）、お茶席（高校生）、音楽祭でのフォトブース作成と高校生café運営等多くのイベントに参加するだけでなく、運営に加わり活躍した。 ・平井知事との伸びのびトークで、中高生サークルの実践発表をした。 ・コミュニティ支援スタッフと村民とのコミュニケーションを深め、行政への相談をしやすくなるよう取り組んだ。 ・新たな取組みを始める自治会が複数あった。					
	課題	・自治会のみならず、幅広い団体へ効果的なサポートが出来るようコミュニティ支援の更なる周知が必要。					

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	・コミュニティセンターや図書館を生涯学習の拠点として、様々な事業を展開して学習機会の提供に努めてまいります。各種学級・講座については、様々な年代の村民が参加できるよう、かがやき学級、青年学級、成人学級のほか、ニーズに応じた事業を新たに立ち上げる等、創意工夫してまいります。また、小中高生がヴィレステひえづに毎日集い、出会いストリートで学習しています。多い日は60名を超す日もあります。出会いストリートは、村民が集う場というコンセプトで設けられました。集う場としてのエリアと学習する場としてのエリアの棲み分けを整理しながら、引き続き村民が集い村の活動の中心となるよう施設運営に努めてまいります。
----------------	--

基本目標 4	魅力あふれるむらづくり	3 すべての人に 健康と福祉を	11 はみ出せられる まちづくり	
施策 4-2	いきいきと暮らせる環境づくり			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	医療・保健・福祉・介護が一体となった総合的な健康づくりを推進し健康寿命の延伸をめざします。						
事業内容 (P)	主な事業の概要						
	【事業名】	健康寿命延伸事業				【担当課】	福祉保健課
	【事業概要】	健康的な生活習慣を獲得するための健康教室やインセンティブ付与を行い、生活習慣病を予防します。					
評価指標 (KPI)	指標項目	『まちの保健室』参加者					
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7
	目標値	R1	85人	85人	85人	85人	85人
	実績値	70人	19人	25人	49人	148人	115人
	達成度		22.4%	29.4%	57.6%	174.1%	135.3%
評価指標 (KPI)	指標項目	前期高齢者の介護保険の認定を受けている人の割合					
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7
	目標値	R1	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%
	実績値	5.2%	4.7%	5.2%	3.25%	3.50%	2.39%
	達成度		94.0%	104.0%	65.0%	70.0%	47.8%
評価指標 (KPI)	指標項目	健康ポイント交換者数					
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7
	目標値	R1	20人	20人	20人	20人	20人
	実績値	18人	96人	90人	118人	99人	116人
	達成度		480.0%	450.0%	590.0%	495.0%	580.0%

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) - 健康意識向上事業：食生活コントロールキャンペーン（8・2月）として普及啓発を実施した。集団健診時歯科保健指導、妊婦歯科検診費用助成を実施した。 - 健康ポイント事業：ポイント達成者116人 - 特定健診・がん検診受診率向上事業：新40歳に健康応援リーフレット(*1)を配布し、健康づくりに関する情報提供を行った。 *1健康応援リーフレット：健診のことや生活で気を付けて欲しいことなどの健康に関する資料をまとめたもの。 - まちの保健室：かがやき学級（高齢者学級）との共催実施。教育委員会社会体育と連携しニュースポーツ（ボッチャ）体験を実施。参加者115人。 - フレイル対策：7自治会の通いの場で、フレイル予防の普及啓発と握力計を活用したフレイルチェックを実施。	
評価 (C)	成果	- ポイント達成者が前年度より増加した。 - まちの保健室でのスポーツ体験やフレイルチェック等を行い、健康づくりの意識向上を図った。 - 新40歳の特定健診受診率が上昇した。（R6年度：33% R7年度：60%）
	課題	- 働き盛り世代のポイント付与者、達成者が少ない。 - まちの保健室はこれまでイベント型（拠点開放型）で実施してきたが、新規参加者の確保が困難な状況にある。

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	- 社会福祉協議会と連携を図り”まくれんカラダ体操”を推進し、多くの方に参加いただけるよう各自治会公民館で実施する。 - 健康ポイントのインセンティブを活用しながら、幅広い世代を対象とした健康づくりに関する教室やイベントを開催していく。 - まちの保健室の対象者を高齢者とし、気軽に健康相談ができるまちの保健室と従来のフレイル対策を一体的に実施することで、事業の実効性を高めていく。
----------------	---

基本目標 4	魅力あふれるむらづくり	11 住み続けられるまちづくりを		
施策 4－3	安心・安全なむらづくり			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	安心・安全な暮らしが送れるよう、環境負荷をできる限り低減する循環型社会の構築と防災に強い村をめざします。						
事業内容 (P)	主な事業の概要						
	【事業名】	ごみの減量化事業				【担当課】	住民課
	【事業概要】	電気式生ごみ処理機の助成等を行い家庭ごみの減量化を図るとともに、正しいごみの分別や環境保全についての周知を行います。					
	【事業名】	住宅用太陽光発電システム等導入支援事業				【担当課】	住民課
	【事業概要】	太陽光発電システムや蓄電池などの導入補助を行いCO2の削減と省エネルギー社会を実現します。					
評価指標 (KPI)	指標項目	一人当たりのごみの排出量					
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7
	目標値	R1	—	—	—	—	—
	実績値	574 g	576 g	574 g	543 g	520 g	524 g
	達成度		101.1%	100.7%	95.3%	91.2%	91.9%
評価指標 (KPI)	指標項目	防災士資格取得者の育成					
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7
	目標値	—	—	—	—	—	30人
	実績値	—	22人	26人	27人	31人	33人
	達成度		73.3%	86.7%	90.0%	103.3%	110.0%

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) ・一人当たりのごみ排出量は、令和7年度も評価指標（KPI）の単年目標値を達成 ・ジョギングなどの運動をしながらごみ拾いを行う「ながらごみ拾い活動」の継続実施（R5.7～） ・広報誌等を活用したごみに関する啓発活動 ・不法投棄された廃棄物の迅速な回収 ・電気式生ごみ処理機等導入経費の一部を助成（電気式生ごみ処理機 4台、コンポスト 1台） ・太陽光発電システム等導入補助 6件、蓄電池 5件 ・全職員対象の防災訓練を実施 ・防災士の養成							
評価 (C)	成果	・ごみに関する啓発は広報誌を中心に実施し、適正な分別やごみ減量に対する意識の醸成を図った。 ・不法投棄ごみは、通報があった都度速やかに回収し、生活環境及び景観の保全を図った。 ・コンポストや電気式生ごみ処理機の購入助成、太陽光発電システム及び定置用蓄電池等の設置補助の活用により、ごみの減量化及びCO₂排出量の削減を推進した。 ・地震を想定した訓練を実施し、初動時の体制確認及び課題点の抽出、参加者と共有を図ることができた。 ・2名の防災士を養成できた。	家庭系ごみ量の推移 村全体（単位:トン）					
				R3	R4	R5	R6	R7
			燃えるごみ	573	574	553	526	533
			燃えないごみ	37	36	33	34	37
			資源ごみ	140	144	132	124	118
			合 計	750	754	718	684	688
			課題	・ごみに関する啓発は広報誌が中心となっているため、より多くの住民へ効果的に情報を届けるための情報発信手法の充実が必要である。 ・備蓄品の更新及び備蓄物の見直しが必要。 ・防災士の地域との連携の推進。				

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	広報誌をはじめ、防災無線など複数の媒体を活用した啓発活動を推進するとともに、ごみの減量化・資源化及び適正排出の促進や脱炭素化に向けた取組を継続し、住民意識の向上と良好な生活環境の維持を図る。 【具体的な取組】 - 広報誌や防災行政無線などを活用したごみに関する啓発活動 - 不法投棄廃棄物の迅速な回収による良好な生活環境の維持 - 電気式生ごみ処理機等導入経費助成の実施 - 太陽光発電システム等導入補助の実施 - 引き続き、防災士の育成及び研修を実施します。 - 自治会（自主防災組織）と防災士の連携強化を図ります。 - 継続して、村民参加、全職員対象の防災訓練を実施します。
------------------------	---

令和8年度（対象：令和7年度）

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税） 事業効果検証報告書

令和8年3月31日 付けで変更認定を受けた地域再生計画に記載されているまち・ひと・しごと創生寄附活用事業に係る令和7年度の実施状況について、下記のとおり報告します。

記

1 地域再生計画の名称及び事業の名称

地域再生計画の名称	第2期日吉津村ふるさと創生推進計画
事業の名称	第2期日吉津村ふるさと創生推進事業
地域再生計画の概要	日吉津村は、これまで人口が増加傾向であった。将来的に人口増加の推計もあるが、毎年の出生者が20人台後半であった場合は、急激な減少はないものの、人口が減少傾向に転じる。階層別人口の推計から、子どもを増やす取り組みは勿論だが、生産年齢人口が流入する施策にも取り組むことが、人口を減少させず、維持・増加に効果的であると考え。具体的には、「住むなら日吉津!」、「子育てなら日吉津!!」などを基本目標として掲げ、定住策、健康寿命延伸の取組等の強化を行い、将来的な人口減少傾向を解消し、人口の増加を目指す。

2 まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附の実績

年度	
事業費計（円）	62,654,841
寄附額計（円）	5,400,000

法人名	法人番号	寄附額（円）	受領日	公表の可否
株式会社アミバラ	8260001000354	1,000,000	2025/4/10	①企業名・寄附額：公表
株式会社アイテック	9270001005541		2025/6/6	②企業名：公表、寄附額：非公表
株式会社シンセイ	5270001003318	100,000	2025/6/13	①企業名・寄附額：公表
株式会社リンクス	5270001003870		2025/6/26	②企業名：公表、寄附額：非公表
株式会社美作グループ本社	5260001020248		2025/7/15	②企業名：公表、寄附額：非公表
株式会社テレブラザ	8270001003414	1,000,000	2025/7/25	①企業名・寄附額：公表
有限会社新生電気工事	6270002006054	100,000	2025/8/20	①企業名・寄附額：公表
株式会社ワーパス	8270001003645		2025/9/25	②企業名：公表、寄附額：非公表
株式会社アミバラ	8260001000354	1,000,000	2026/3/27	①企業名・寄附額：公表

3 事業の実施状況に関する客観的な指標

指標	人口の社会動態（人）		
	年 月	目標値	実績値
申請時	2020年12月	-	2
初年度	2021年12月	-	20
2年目	2022年12月	-	40
3年目	2023年12月	-	36
4年目	2024年12月	-	4
5年目	2025年12月	-	-19
6年目	2026年12月	60	

指標	婚姻届出数		
	年 月	目標値	実績値
申請時	2020年12月	-	14
初年度	2021年12月	-	17
2年目	2022年12月	-	16
3年目	2023年12月	-	7
4年目	2024年12月	-	10
5年目	2025年12月	100	

指標	合計特殊出生率		
	年 月	目標値	実績値（総人口）
申請時	2020年12月	1.7	1.68
初年度	2021年12月	1.7	1.64
2年目	2022年12月	1.7	1.82
3年目	2023年12月	1.7	1.15
4年目	2024年12月	1.7	1.57
5年目	2025年12月	1.7	

指標	総人口に対する生産年齢人口		
	年 月	目標値	実績値
申請時	2020年12月	-	57.00%
初年度	2021年12月	-	56.50%
2 年目	2022年12月	-	56.48%
3 年目	2023年12月	-	56.43%
4 年目	2024年12月	-	56.22%
5 年目	2025年12月	-	55.98%
6 年目	2026年12月	57.40%	

指標	日吉津村が住みやすいと感じる方の割合		
	年 月	目標値	実績値
申請時	2020年12月	-	45.40%
初年度	2021年12月	-	-
2 年目	2022年12月	-	-
3 年目	2023年12月	-	-
4 年目	2024年12月	-	-
5 年目	2025年12月	-	47.10%
6 年目	2026年12月	50.00%	-

指標	日吉津村に住み続けたい方の割合		
	年 月	目標値	実績値（総人口）
申請時	2020年12月		59.90%
初年度	2021年12月		-
2 年目	2022年12月		-
3 年目	2023年12月		-
4 年目	2024年12月		-
5 年目	2025年12月		54.10%
6 年目	2026年12月	60.00%	-

4 事業費及び関連する寄附額

事業の名称	移住定住支援事業		
-------	----------	--	--

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	住むならひえづ事業	移住・定住促進
---------------------	-----------	---------

事業の概要

仕事、住まい、結婚を総合的にサポートする「移住定住総合相談窓口」を開設し各関係機関や団体等と連携して支援を行う。
本村へ移住し、住宅を取得した世帯への継続した経済的支援を行う。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	3,384,700	歳入計	3,384,700
		内訳	地方創生応援税制の適用のある寄附額計
			500,000

事業の名称	入学おめでとうポイントギフト事業		
-------	------------------	--	--

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	子育てならひえづ事業	少子化対策
---------------------	------------	-------

事業の概要

小学校入学の際にポイントギフトをQRコードとして印字したギフトカードを、育児パッケージの通知と一緒に贈ることで、子育て支援として保護者の一時的な負担の軽減につなげる。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	327,000	歳入計	327,000
		内訳	地方創生応援税制の適用のある寄附額計
			327,000

事業の名称	企業版ふるさと納税基金（子育て指定分）		
-------	---------------------	--	--

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	子育てならひえづ事業	少子化対策
---------------------	------------	-------

事業の概要

入学おめでとうポイントギフト事業（小学校入学の際にポイントギフトをQRコードとして印字したギフトカードを、育児パッケージの通知と一緒に贈ることで、子育て支援として保護者の一時的な負担の軽減につなげる。）を翌年度以降継続して実施するため、基金として積み立てする。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	680,000	歳入計	680,000
		内訳	地方創生応援税制の適用のある寄附額計
			673,000

事業の名称	人材育成交流事業		
-------	----------	--	--

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	子育てならひえづ事業	人材の育成・確保
---------------------	------------	----------

事業の概要

中学生をオーストラリアに派遣し、現地の人とのコミュニケーションを通してコミュニティづくりの資質を育み、村づくりに貢献できる人材を育成する。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	6,991,067	歳入計	6,991,067
		内訳	地方創生応援税制の適用のある寄附額計
			200,000

事業の名称	ひえづこども園運営費		
-------	------------	--	--

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	子育てならひえづ事業	少子化対策
---------------------	------------	-------

事業の概要

ひえづこども園の保育環境を整えることにより、日吉津村の子育て支援の充実を図る。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	884,489	歳入計	884,489
		内訳	地方創生応援税制の適用のある寄附額計
			784,000

事業の名称	結婚支援事業		
-------	--------	--	--

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	子育てならひえづ事業	少子化対策
---------------------	------------	-------

事業の概要

出会いサポートセンターへの入会登録料の補助、事前登録した「仲人」へ成果報奨金の支給及び結婚・子育て世帯等への支援金の交付を行い、未婚、晩婚化の解消に取り組むとともに、子育て世代への経済的支援を充実させる。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	3,400,000	歳入計	3,400,000
		内訳	地方創生応援税制の適用のある寄附額計
			1,000,000

事業の名称	ミライトひえづ施設運営費		
-------	--------------	--	--

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	子育てならひえづ事業	少子化対策
---------------------	------------	-------

事業の概要

ミライトひえづ施設内の各機能の適正管理により、日吉津村の子育て支援の充実を図る。また各機能と連携した事業を実施する。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	932,900	歳入計	932,900
		内訳	地方創生応援税制の適用のある寄附額計
			616,000

事業の名称	地方創生2.0新たな産業づくり		
-------	-----------------	--	--

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	仕事づくり事業	地域産業の振興
---------------------	---------	---------

事業の概要

日吉津村の新しい産業を生み出すため、農産物等を加工して特産品をつくり、新たな日吉津村のPRと雇用の創出など、地方創生2.0を推進することを目的とし、村内の事業者と協力して地域資源を活用した新商品や新メニューを開発するとともに、売上向上のための販路開拓を行う。日吉津村の農産物を使って加工した新しい特産品等を販売する等、第3セクターではない株式会社の設立を支援する。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	44,735,226	歳入計	44,735,226
		内訳	地方創生応援税制の適用のある寄附額計
			200,000

事業の名称	ヴィレステ拠点事業
-------	-----------

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	元気なむらづくり事業	生涯活躍のまち
---------------------	------------	---------

事業の概要

ヴィレステひえづが多様な場を提供・支援することで、あらゆる世代の村民が様々な形でヴィレステひえづに集うことを目指す。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	1,154,459	歳入計	1,154,459
		内訳	地方創生応援税制の適用のある寄附額計
			965,000

事業の名称	中高生サークル活動支援事業
-------	---------------

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	元気なむらづくり事業	人材の育成・確保
---------------------	------------	----------

事業の概要

中高生が、地域と繋がり関わる事業を行う。中高生が、楽しみながら地域のために行動・貢献する。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	35,000	歳入計	35,000
		内訳	地方創生応援税制の適用のある寄附額計
			35,000

事業の名称	図書館管理運営事業
-------	-----------

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	元気なむらづくり事業	生涯活躍のまち
---------------------	------------	---------

事業の概要

村民が生活の問題解決や生涯学習に取り組めるように、図書館として様々なサービス提供に努める。ヴィレステひえづが持つ3機能を活かしつつ、村民が自然と集まり活躍できる場となるように、図書館の利用促進に取り組む。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	130,000	歳入計	130,000
		内訳	地方創生応援税制の適用のある寄附額計
			100,000

5 事業の目標の達成状況

該当するものに「○」	達成状況
	目標以上を達成
○	概ね目標を達成
	目標達成に向け順調に推移
	やや目標達成困難
	目標達成困難